

今後の少子高齢化社会を考える

—在日そして地域社会の高齢者問題—

日時／**9月3日(月)** 午後**6**時
※午後5時30分～開場・受付開始

場所／**名古屋市教育館**
2階 講堂
名古屋市中区錦三丁目16-6
地下鉄東山線・名城線
「栄」駅③番出口より徒歩1分

参加費／**500円** ※資料・会場代として

定員／**150**名 ※要予約
主催／在日本大韓民国民団愛知県地方本部
韓日歴史・文化フォーラム実行委員会
後援／駐名古屋大韓民国総領事館
在外同胞財団

講師／**尹基(田内基)氏**
(社会福祉法人こころの家族 理事長)



韓国・木浦生まれ
ソーシャルワーカー
日本(福)こころの家族 理事長
韓国(福)尹鶴子共生財団 名誉会長
韓国(福)共生福祉財団 会長
故郷の家 開設 … 堺(89年)
大阪(94年) / 神戸(01年)
京都(09年) / 東京(16年)

尹基(田内基)氏の母である田内千鶴子氏は7歳で韓国・木浦に渡り、後に父・尹致浩氏と結婚して木浦・共生園で孤児救済のために尽力する。千鶴子氏は朝鮮戦争で夫が行方不明になってからも共生園を守り続け、1968年に亡くなるまでに3000人以上の孤児を育て上げ「韓国孤児の母」と敬われた。

その後、母の遺志を受け継いだ基氏は木浦・共生園をはじめ、大阪・堺市では日本初となる在日コリアンの特別養護老人ホーム「故郷の家」を開設するなど、母がやり残した事業にも熱心に取り組んだ。

また、世界の孤児たちが堂々と生きられるようにと、母・千鶴子氏の生誕100周年を機に「世界孤児の日」の制定の必要性を訴え、ついに韓国で国連「世界孤児の日」制定推進運動が動き始めた。

今回は、日本と韓国、そして日本人と在日コリアンの間を福祉や国際交流の面から友情の絆でつないできた尹基(田内基)氏に、在日コリアンや地域社会が抱える高齢者問題そして今後の少子高齢化社会についてご講演していただきます。

【お申込・問合せ先】 FAX:052-452-1716 E-mail:jigyoo@mindan-aichi.org

韓日歴史・文化フォーラム事務局(民団愛知内) 趙鐵男(ちょ・ちよるなむ) TEL:052-452-6431

ふりがな			
お名前			
お電話番号		FAX番号	
ご住所	〒		
E-mail			